

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



大証次期システム「JGATE」の対応は万全？

前回のコラムから少々間隔が開いたが、エジプト動乱など小波乱発生があったものの、地合いは底堅く、先月後半からの決算相場を上手く乗り切られた方も多いのではないだろうか。

さて、今週は祝日休場にSQ算出が予定されている。今回のSQ算出は先物限月のメジャーSQに対し、通称ミニSQとされるが、今後はSQ算出の重要性はさらに増していくと思われる。

要因は、大証の次期デリバティブシステム「JGATE」が来週から稼働を開始するためだ。相場情報の拡充、パフォーマンスの向上のほかに、先物・オプション取引制度の見直しが行われる。

ポイントは昼休み廃止の「1場制」移行、値幅制限は定率制に、注文方法も世界基準に変更され、マーケットメイカー導入に影響力の高まったミニ先物のマンスリー限月導入と「抜本的改革」とも言えるものとなっている。

来週には、おそらく注文時に新システム移行を知り、戸惑われる個人投資家の方も多だろう。そこで弊社では「先物・オプション取引専門相談窓口」を開設、新システム対応だけでなく、相場観やストラテジーも提供している。先物取引を手掛けている方は弊社に直接問い合わせしてほしい。